

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	松阪市青少年センター運営協議会
2. 開 催 日 時	平成26年3月10日（月）午前10時～午前11時30分
3. 開 催 場 所	松阪市教育委員会 2階 教育委員会室
4. 出 席 者 氏 名	別紙のとおり
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	0名
7. 担 当	松阪市教育委員会いきがい学習課 TFL 0598-53-4401 FAX 0598-26-8816 e-mail ikig.div@city.matsusaka.mie.jp

協議事項

1. 平成25年度青少年センター活動結果及び平成26年度活動計画（案）について
2. 松阪警察署管内の少年非行の現状について
3. 意見交換・提言等
4. その他

議事録

別紙

平成25年度 松阪市青少年センター運営協議会議事録

日 時：平成26年3月10日（月）午前10時～午前11時30分

場 所：松阪市教育委員会2階 教育委員会室

出席者：東委員(教育長)・藤井委員・橋本委員・岡田委員・水野委員・高柳委員・岡本委員

事務局：いきがい学習課長・青少年センター所長・青少年センター副所長・青少年育成係

(議事)

事務局： 只今より「平成25年度松阪市青少年センター運営協議会」を開催させていただきます。本日は大変お忙しい中、ご出席を賜りありがとうございます。会議に先立ちまして、会長であります東教育長からご挨拶を申し上げます。

教育長： あらためまして皆様おはようございます。本日は「平成25年度松阪市青少年センター運営協議会」という事で大変お忙しい中、ご出席頂きありがとうございます。

今年度もおし迫ってまいりまして、3月7日には市内の中学生が感動の中で、それぞれの中学校を巣立って行きました。地域、保護者またいろんな機関の方に見守られて子どもたちも3年間の中学校での思い出を胸に秘めて巣立って行ってくれたと思います。子どもたちの進路は様々で、進学したり就職したり、1人1人の子どもが自分の歩んでいく人生を着実に一步一步前へ進んで行って欲しいと誰もがそのような願いで送り出して頂いたのではないかと思います。

今、世の中は子どもたちが育ちにくい環境でございます。いろんな青少年問題が発生する中で、私は子どもの責任というよりも子どもが育ちにくい今の世の中、社会の環境が要因であるのではないかと思います。いろんな情報化が進む中で、インターネット・携帯電話・スマートホンに関わる事件、事故が市内の子どもたちの中でも発生してきています。10年、15年前は、おそらくこのような状況はなかったと思います。インターネットが身近に使えるようになった時に、私は本当に子どもたちが大丈夫なのかと心配になりました。今、恐れていた状況が現実になり、大人の責任として子どもたちの教育をしっかりしていく必要があると改めて認識しています。

それとつい最近ありました、四日市花火大会の帰りに事件に巻き込まれ、朝日町で遺体となって発見された中学生の事件は、本当に驚きました。高校生が事件の強盗殺人容疑で逮捕された件や、千葉県の通り魔殺人事件があつて、青少年の犯罪が、特に今年になってこの3月に相次いだ事もあり教育委員会としてもこの事を重く受け止めていかなければならないと思っております。

青少年センターの機関誌に「若芽を伸ばそう」という言葉がありますが、いつもこのタイトルを見ていい言葉だと思っております。まさに3月、4月、春のいぶきを感じ野山で若芽がどんどん伸びてきます。子どもたちは環境を整えれば本当に伸びて行く力があります。みんなで環境を整えながら子どもたちの力、若芽を伸ばして行きたい、そのことが松阪市のこれからの市の発展に繋がっていき、市民1人ひとりの幸せに繋がっていくと考えます。皆様にはこれからも、いろんな所でご尽力頂きたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

事務局： ありがとうございます。それでは、協議に入らせて頂きたいと思います。これからの進行につきましては、松阪市青少年センター設置規則第5条に基づき、会長にお願いします。それでは、会長よろしくお願いします。

会長： それでは、運営協議会事項書に基づき進めて参りたいと思います。まず事項書の3の1、「平成25年度松阪市青少年センター活動結果及び平成26年度活動計画（案）について」事務局の方よりご報告させていただきます。

事務局： 青少年センター所長より資料に基づき、平成25年度松阪市青少年センター活動結果及び平成26年度活動計画（案）について説明

会長： 只今、平成25年度の青少年センターの活動結果及び平成26年度活動計画について事務局より説明がありました。ご協議は、後半まとめてお願いしたいと思います。次に事項書3の2の「松阪警察署管内における少年非行現状について」松阪警察署よりご説明を頂きます。生活安全課長様お願いします。

松阪警察署生活安全課長： お手持ちの資料の少年非行の状況をご覧ください。まず概況を説明させていただきます。非行少年等の人員は511人で前年比より340人の減少となっております。非常に減っております。市の補導人員とは統計が違うので、市の方の補導人員は減っていないかもしれませんが、警察の方では非行少年の検挙、補導の関係は減ってきています。率にして約40%減っております。

また、松阪警察署だけの特徴ではなく、県下のほとんどの警察署で減少しております。その内訳は、刑法犯少年につきましては58人です。刑法犯というには窃盗や詐欺などの犯罪です。それで検挙されたのが58人、前年比で47人の減少で、率にして44.8%の減少になっております。

次に特別法犯少年は、車の中に凶器を持っているなどや、ゴミを捨てるなど刑法犯以外の法律に触れる行為をした少年が25年は8人で、24年より3人増加しています。補導の関係ですが、中心は煙草の喫煙や深夜徘徊などで、深夜徘徊は午後10時以降に徘徊している少年を補導しています。これの総数が445人で24年より296人減りまして、約40%の減少になっております。あと、ぐ犯少年につきましてはありませんでした。これについては、毎年ほとんどありません。

非行少年と補導人員の数がなぜこんなに減ったのかとよく質問を受けます。要因として、1つは子どもの数が減少してきた事、2つ目は地域のボランティアや関係機関、警察のパトロールや街頭活動の効果だと言えると思います。ご存知の通り平成14年に刑法犯認知件数が非常に増えたという事で、地域のボランティアの皆様や関係機関の皆様が、意識を高め活動をしてもらいその成果が現れたのだと思います。

3つ目が少年補導時に警察が保護者へ直接指導をこまめに実施するようになりました。どのような事だと言うと、深夜徘徊や煙草などで警察は少年補導表を書きます。10年ぐらい前までは、補導して書類を決裁してあげるだけだったのですが、10年前からは補導した場合、必ず保護者に連絡をして保護者から子どもに注意をしてもらっている事が影響してきていると考えています。大体の保護者は自分の子が補導されたら子どもに注意するので、このような事が成果に繋がっていると思う。

4つ目が生活環境の変化です。パソコンやゲーム機が普及してきて、街頭で遊ぶ少年が減ってきている事が大きな理由です。確かに街頭に出ている少年が遊んでいる姿を見る機会が少なくなっております。それと個人的にですが、松阪警察署で当直し

ておりまして感じた事は、地域の人が少年蝟集（たむろすること）を許さない。例えば午後10時以降、深夜徘徊として補導する活動を警察がしているのですが、それ以前であっても少年が蝟集（たむろしている）しているという110番をかける方が多くなってきました。ただし、午後7時や8時だと補導対象になりませんが、110番があった以上は現場に行き職務質問をして、煙草などを持っていないか、いろんな事を調べております。少年が蝟集（たむろしている）していると警察官が来るという事も影響していると思う。当然ですが、午後10時以降に110番通報があれば蝟集（たむろすること）の場所に行き少年補導をしております。このような事が少年非行の減少に繋がっているのではないかと思います。

以前からお話させて頂いていますが、平成24年、25年は少年、中学生の逮捕が異常に多い、特に松阪署管内は非常に多い。内容としては、8月からの3カ月の間に事務所荒らしやひったくり、傷害など大人顔負けの犯罪が次々に起こっており、このような事は警察が許さないという事で、15歳・16歳の少年11人を逮捕しました。このような事あってから、8月頃からの刑法犯認知件数が減少し始めました。そして11月、12月には、少年を逮捕した事で犯罪が減ってきた1つの要因になってきたのではなかとと思います。

平成24年より平成25年は逮捕した数は減りましたが、非常に悪質な少年を逮捕した事で、平成24年よりむしろ平成25年の方が数は少ないですが、質的には効果が現れて良かったのではないかと考えています。平成24年、25年に関しては非常に厳しい態度で臨んできましたが平成26年につきましてもこの姿勢を崩さずにやって行きたいと思っております。

それに関連する事項ですが、この3月7日に中学校の卒業式がありまして、いろんな学校からも警備要請が警察の方にもありました。うちの警察官と地域警察官が協力しまして管内の中学校に待機して備えておりました。結果、卒業式に関しましてほとんどトラブルはなかったのですが、ただ、名前は出せませんが、A・B・C・Dの4中学校がマームに集結するという情報があり、学生服の裏の刺繍を見せ合ったり、プリクラを取りあうという状況がありまして、警察官を行かせた所、約30人が集結していましたが、思ったようなトラブルは特にはありませんでした。

ただ、A・B・C・Dの中学校ですが、B・Cの中学校は比較的、24年も25年も色んな事があった中学校だったのですが、Aの中学校は今まで問題はなかった。しかし25年後半から先生を殴ったり、カーテンに火をつけたりといった器物損壊があり、非常に危険な状態になっております。Aという中学校については、平成26年はちょっと気をつけないといけないと個人的に思っております。B・Cの中学校もなかなかおさまらないので厳しい姿勢で、中学生であっても逮捕するという事で臨んで参りたいと思っております。また、D中学校も元々はいろいろあったんですが、今はポツポツ出てくる感じです。この4つの中学校についてはこれからも注意して見て行く必要があると思っております。

また、マームに卒業式を終えた悪いグループが寄って来て、普通の子どもが悪い子たちに引っ張られるとまた問題なので、その子たちには厳しい態度で臨んでいきます。

それから少し話が変わりますが、依然として出会い系サイト等の話が無くなりません。インターネットを通じた少年問題に本部の方も本腰をいれておりまして、今年度

4月1日からサイバー対策課ができ、これからサイバー、インターネット絡みの犯罪がどんどん増えるという事が予想されるため新しい課ができます。これからはもっと出会い系サイト等についても力をいれていかないといけないと考えます。

それからもう1つチャイルドガーディアンという警察OBが、9警察署で9人配置されます。地域のボランティア団体との活動の調整役やスマートホンの相談などの活動になると聞いております。このチャイルドガーディアン1名が松阪署管内と大台署管内を受け持つと聞いております。少年問題は非常に大きな問題ですが、なかなか人数を増やしてもらう事はできず関係機関の方にご協力頂きまして、少年問題について一生懸命取り組んで参りたいと思っております。

会長： 松阪警察署生活安全課長さんからは、来年度に関わるたいへん嬉しいお話を聞かせて頂きました。また、今後とも警察署様とは連携をとっていかないとはいけませんので、よろしくお祈いします。ありがとうございました。

会長： それでは今、説明のありました内容につきまして、この後ご意見等聞かせて頂ければと思います。前半には青少年センターより今年度の結果、来年度の計画、今、生活安全課長様からは、細かい数字の方も出して頂きながら報告を頂きましたので、それぞれの立場の中で感じてみえる事を報告ないし質問でも結構ですので発言をよろしくお祈いします。

委員： 学校の立場から報告させていただきたいと思ひます。今、25年度の報告等を聞かせて頂きましたけれども、学校においても子どもたちの問題行動の未然防止や問題行動をおこした際の指導等を、生徒指導を中心に全教職員できめ細やかに取り組んでいる所でございますが、皆様のおわかりのとおり子どもたちを取り巻く社会の状況が変わってきております。塾で他校の生徒と知り合ったり、先ほどから出ています携帯、スマホ、LINEでたくさんの繋がりが出来たり、行動範囲が随分広がっている中で学校だけの対応だけでなく、このようにたくさんの方々に見守って頂く、たくさんの目があるという事は非常にありがたい事だと今日も改めて感じさせて頂きました。

街頭補導で回って頂けるという事は補導して頂く事も目的であります、日々行動して頂いている事が未然防止にも大きく繋がっているという事を感じております。

特に連携をして頂きながら活動して頂いている、毎月、中学校の生徒指導の担当者が参加して行っている生徒指導連絡協議会等で市内の中学生の状況も把握して頂き、情報を得て頂き重点的に動いて頂いているのはありがたいと思ひます。

そういった形で青少年センター、警察等との連携を深めながらまた、学校に返して頂いて学校の中で指導を進めて参りたいと思ひます。

それから教育長さんのお話にもありましたが、いろんな青少年の凶悪犯罪が増えて来ております。私が教員になってから一番衝撃的だったのが、神戸の須磨区であった酒鬼薔薇聖斗と名乗る少年の凶悪犯罪が1番衝撃を受けたわけですが、今回の事も四日市、千葉という事ですが、この件を松阪市の事と考え、高校を卒業した生徒という事で高校の問題としてとらえるのであつては絶対いけないと思ひます。

その子がこれまで小学校、中学校で教育を受け、高校で教育を受ける中でどんな教育を受けてきたか、また家庭や地域での関りがどうだったのか身近に考えてどのようにしていけばいいのか話をしながら子どもたちの健全な育成に力をいれて行きたいと思ひます。

委員： 今日、昨年度の活動の報告がありました、この数字を聞きながら皆様よく活動してもらっていると思えました。お疲れ様と言いたいです。

このように目に見えた物に対応するという事だけが子どもを育てる事ではなく、先ほど先生が言われましたが、子どもの育て方が一番非行をなくす上で大事な事だと思えます。私は保護司をしています、子どもたちを見ながら私もこの子どもたちの育ち方をしていたら同じ事をしていたのではないかとよく感じます。三つ子の魂と言いますが、小さい時にしっかり人間として正しく生きていく生き方を教えて行く事が今、一番求められているのではないかと思います。

日本の国は世界で一番いい国だと思います。自由もあり豊がであり、こんな国は世界中どこを探してもないと思うのですが、その自由の良さ、素晴らしさに甘えてしまって、今やらなくては成らない事をきちんとしない事が最近いろんな所で出てきていると思っています。

この間、東京の駅の構内で作業員が車を線路上にのせてしまい電車と大惨事になった事故がありましたが、きちんと確認しておいたらそんな事故がおこらないわけです。確認をしないまま、不注意に動いてしまう事が日本国民は非常に多いと思います。日本の国民の中にはやらなくてはならない事に平和ボケというのか平和の中で育ってしまい、やっぱり小さい時の子どもに対する教えがきちんとされていない事があるのではないかと思います。まず、小さい時の子育てを一番考えていかなければいけない時期にきているのではないかと思います。

教育長さんの今日の話の中にもこのような話がありましたが、健やかな子ども、立派なのびのびとしたすばらしい子どもを育てていく事がまず大事だと思います。

委員： 私どもの仕事は、三重県の青少年健全育成条例に基づく立ち入り調査です。どちらかと言うと青少年センターの環境浄化に該当すると思っております。松阪市内で今年一年間で良かった事は、大津町の所にありました自動販売機と西黒部の福山通運の近くにありました悪書自動販売機が両方とも撤去になりました。これは皆様方のご協力のおかげで無くなったと思っております。

それにひきかえ、成人向けの図書がコンビニでは多く、最近2・3件のコンビニで成人向けのDVDが少し置いてありました。きちんと区分陳列してあり、置いてある店舗については必ず店長さんや店員さんにお声かけして子どもたちが見ないように、また子どもに声かけをしてもらえるようお願いしております。

また、ほとんどのカラオケ店で部屋の中に灰皿がおいてあります。これは仕方ないことですが、禁煙室の設定があるお店では、禁煙室に子どもたちを入れてもらうようお願いしています。数年前、他の地区ですが、灰皿を置いておかないと危ないからという店員もいました。そういった場合、喫煙等に気をつけて頂きたいとお願いしております。ずっと回っていて思うことは、地域の方が回って頂く回数が多ければ多いほど、コンビニやゲームセンター、図書類の販売、カラオケでも地域の方が意識をもって回って頂くと非行への影響力が大きいと思っています。

委員： 私が所属の青少年育成市民会議松阪支部の方では月に1度パトロールをしています。3大祭りにもパトロールをしています。明日も初午祭宵宮があり夜間パトロールをします。私が一番パトロールをしていて感じるのは、子どもたちの姿を以前より見なくなったことです。先ほど生活安全課長さんも言われていましたが、インターネットな

どの影響なのか家にこもっている。私の家の近くに家にたまり場があり、中学校にも言わせていただいたのですが、そのたまり場で煙草を吸っていたりして、小学校の子が見て通るのが怖いと言います。近所の方も気付いていて気にしています。最近、バイクに2人乗りで学生服を着た中学生が信号無視をして私の横を通って行ったので、見たらそのたまり場に行きました。私は、そのたまり場になっている子どもの事を小学校の時から知っているのですが、その子は前はすごくおとなしかったのですが、家庭環境がすごく変わってしまった。他の生徒にその子の事を聞くとその子は煙草を吸っていないと言う。しかし、その子の家はたまり場になっていて煙草を吸っていたり、バイクも2台おいてある。その子は中学校を卒業するのですが、今後どのようなようになるのか心配です。

小、中学校であれば地域の方々の見守りがあるが、高校生になったらどうなるのか不安です。この間の卒業式の際に主任児童委員としてお邪魔したら、パトカーが置いてありビックリしました。校長先生に聞いたら今年度から地域のお巡りさんとして卒業式に参加してもらっていると聞きました。私らでさえパトカーが置いてあると気が引き締まったりするので非行抑止にもいい事だと思いました。

委員： 私は生徒指導員として毎朝、登校指導に出ています。決して本校の生徒もマナーがいいと言えませんのでなかなか申し上げにくい事もありますが、やはり危ないと思う、中学生の子たちの2人乗り、信号無視、斜め横断を時々見かけます。

それ以上に私が3年間生徒指導をしていて登校指導を通して残念に思った事は、私たち教員や地域の方々が交通指導をして頂いている中で、一般の大人の方が、信号無視や斜め横断、自転車に乗っている大人のマナーの悪さが目に付いたことです。本当に子どもたちがたくさんいる中で、私たち大人も気をつけていかないと子どもたちは見ている、真似をしてしまうと思いました。

3月1日に本校も3年生が卒業式を迎えましたが東松阪駅の周辺に住んでみえる方が毎朝、雪の日も雨の日も朝から小学生、中学生、高校生に対しておはようと言って下さって、毎日、毎朝立ってもらっている方がいます。そういう方に見守られて子どもたちは無事に3年間通学させてもらっています、地域の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

会長： 各委員の皆様からいろいろご意見等頂きました。生活安全課長さんの方からは件数としては少なくなってきたが、少年の逮捕事案が24年、25年、特にこの25年については質的に逮捕につながり、そのような部分で力を入れて頂きました。後、県警の方もサイバー対策課を立ち上げてもらい、今後の学校のネット関係の犯罪についてもしっかりと監視をして頂けるものと頼もしく思います。

それぞれのお立場で環境浄化の問題であるとか、健全育成、子育ては小さい時から大事であること、学校教育での立場、いろんな所から貴重なご意見頂きました。

また、青少年センターにつきましても先ほど事務局から、これからの活動の中で、来年は午前中に学校のニーズに応じ、学校における子どもたちの状況が大変厳しい時には、出向いて頂いて、子どもたちを見守って頂くという事も新しく行なうことが報告にありました。

また、これからも来年度に向けて、市内の子どもたちを皆様の力をお借りして見守っていかねばなりませんので、引き続き皆様のご協力のほどをよろしくお願いします。

事務局： それでは、これもちまして平成25年度松阪市青少年センター運営協議会を閉会させていただきます。長時間にわたり協議頂きありがとうございました。